United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization
UNESCO Associated Schools

平成２７年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成２７年４月～平成２８年３月

１．学校概要

学校名　福岡県大牟田市立上内小学校
種　別　□保育園・幼稚園　■小学校　□小中一貫教育
□中学校　□中高一貫教育　□高等学校
□教員養成　□技術/職業教育
□特別支援学校　□その他（　　）
所在地　〒８３７－０９０２
福岡県大牟田市大字上内１５７５－１
E-mail　kamiuchi-es@st.city.omuta.fukuoa.jp
Website
児童生徒数　男子　３４名　女子　３２名　合計　６７名
児童・生徒の年齢　６歳～１２歳

２．実施活動（複数選択可）

□　地球規模の問題に対する国連システムの理解
□　国際理解
□　世界遺産
■　平和・人権
■　環境
□　気候変動
□　生物多様性
□　エネルギー
□　防災
■　食育
□　伝統文化
□　そのほか（　　）

３．活動内容

（１）１年間の主な活動内容について記載願います。

【３年生　汐井川のよさを調べよう】（環境）

＜目　　標＞

○ 汐井川の生き物調べを通して、地域の川のよさを知るとともに、その川を自分たちも大切にしていきたいという思いをもつことができる。

＜活動の実際＞

① 汐井川で生き物を探し、学習課題を見つける。

② 調べる内容、方法を話し合い、計画を立てる。

・生き物の種類と名前、生息場所、特徴

・現地調査、汐井川の今と昔の様子（聞き取り調査）　等々

③ ＧＴを招いて、汐井川にどんな魚や水生動物が生息しているか、また、それらの魚や水生動物をどのように捕るか、教えていただく。

④ ＧＴとともに、汐井川に出かけ、生息する魚や水生動物を捕る。

・捕った魚やカニなどを水槽に入れ、「上内ミニミニ水族館」を完成させる。

⑤ 「汐井川自慢」ポスターを作成して、全児童、保護者、地域の方に発信する。

＜主なＧＴ等＞

・地域の方

【４年生　共に生きる：自分の幸せ　みんなの幸せ】（人権・福祉）

＜目　　標＞

○ 福祉について考えていく活動を通して、相手の立場を考えながら、よりよく判断し、改善し、実践するとともに、地域社会に積極的にかかわることができる。

＜実際の活動＞

① 自分の周囲にどんな人々がいるのかを考え、自分との関係を考えたりする。・お年寄り　・障害を持つ方

② どんなことに不便を感じてくるのかを考えたり、自分の５０年後のを予想したりする。

③ 公共施設（新大牟田駅、大牟田文化会館等）を見学し、お年寄りや体の不自由な人のために、どのような工夫がされているか調べる。

④ 視覚障害者の方との交流会を行う。

⑤ みんなが住みよい町にするには、どのようにしていったらよいか考えたり、高齢者や障害者の方などが望んでおられることをクイズ形式で全児童、保護者、地域の方に発信していく。

＜主なＧＴ等＞

・視覚障害者の方

・新大牟田駅の方、文化会館の方

【５，６年生　米作りから学ぼう】（環境）

＜目　　標＞

○ 地域の方との米作りを通して、地域の方の努力や願いを知り、地域への

愛着を持つとともに、東日本大震災の被災者に思いを巡らし、主体的に活動することができる。

＜活動の実際＞

①　昨年の活動を振り返り、６年生から上内米のよさや気仙沼市とのつながりについて５年生に伝える。

②　地域の方から米の種類や育ちについて話を聞く。

③　田植え（６月）、稲刈り（１０月）、脱穀（１１月）などの体験をする。

④　気仙沼の復興の状況について調べ、わかりやすく伝える方法を考えて、５年生と協力しながら「上内っ子米」を販売する。

・お米販売への係分担を決め、準備をする。（１２月）

・気仙沼の復興の現状について調べ、伝わりやすい方法でまとめる。

・上内っ子米の特徴や東日本大震災の被災者の方々への思いが伝わるように配慮して販売する。

⑤　感謝祭を開き、学習のまとめをする。（１２月）

・お世話になった方を招き、学んだことを発表する。

・わらの生かし方を教えていただき、「しめ縄づくり」をする。

⑥　学習発表会で、劇を通して「上内米」のよさを伝える。

＜主なＧＴ等＞

・上内校区農地水環境保全委員会

・（交流校）気仙沼市立小原木小学校

（２）活動時間について（下記から選択して下さい。）

■　通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

□　時間外活動の時間を使用

□　ユネスコクラブの活動として実施

□　その他（　　）